

都市再生整備計画 事後評価シート  
熊谷市中心市街地地区

平成29年3月

埼玉県熊谷市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	熊谷市	地区名	熊谷市中心市街地地区			面積	113ha
交付期間	平成25年度～平成28年度	事後評価実施時期	平成28年度	交付対象事業費	389.6百万円	国費率	0.4		

1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	基幹事業		道路(北大通線道路環境整備事業、北大通線自転車通行環境整備事業、市道80034号線道路環境事業)、バリアフリー環境整備促進事業(熊谷駅周辺地区バリアフリー基本構想策定事業)						
	提案事業		まちづくり活動推進事業(熊谷駅正面口交通広場及び周辺道路整備方針策定事業)						
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(市役所通線自転車通行環境整備事業、熊谷駅東口周辺歩道整備事業)、高質空間形成施設(市道80039号線自転車通行環境整備事業、市道80007号線自転車通行環境整備事業、市道50359号線自転車通行環境整備事業、歴史・文化資源ネットワーク整備事業、市道80541号線バリアフリー整備事業、歩行支援施設整備事業)	第2期計画を策定するため交付期間を短縮し、当初計画の残事業を削除した。			当初計画の事業内容が大幅に減少するため、「指標1 歩行者・自転車通行環境の満足度」の数値目標を2%減少させ58%に変更した。		
		提案事業	地域創造支援事業(まちなかレンタサイクル導入事業)、まちづくり活動推進事業(「景観とおもてなし」検討委員会事業)	第2期計画を策定するため交付期間を短縮し、当初計画の残事業を削除した。			当初計画の事業内容が大幅に減少するため、「指標1 歩行者・自転車通行環境の満足度」の数値目標を2%減少させ58%に変更した。		
新たに追加した事業	基幹事業	なし	-			-			
	提案事業	なし	-			-			
交付期間の変更		当初	平成25年度～平成29年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			交付期間の変更により、着手していない事業の削除をした。また、「指標2 歩行者自転車通行量」の数値目標を5,289人減少させ19,711人に変更した。		
		変更	平成25年度～平成28年度						

2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	歩行者・自転車通行環境の満足度	%	55	H21	58	H28		42	×	あり なし ●	見込んだ満足度には達しなかったが、市民の歩行者・自転車通行環境の期待値が、従前の時期より高いため、今後整備を第2期計画にて整備を進めることから、満足度の増加が見込まれる。	-
指標2	歩行者・自転車通行量	人	16,825	H23	19,711	H28		21,332	○	あり なし	都市再生整備計画に加え、熊谷市中心市街地地区の県道も自転車通行環境の整備が進み、一定の効果が得られた。	-

3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	歩行者・自転車通行環境の期待値	%	62	H21				82			-
その他の数値指標2	-	-	-	-				-			-	-

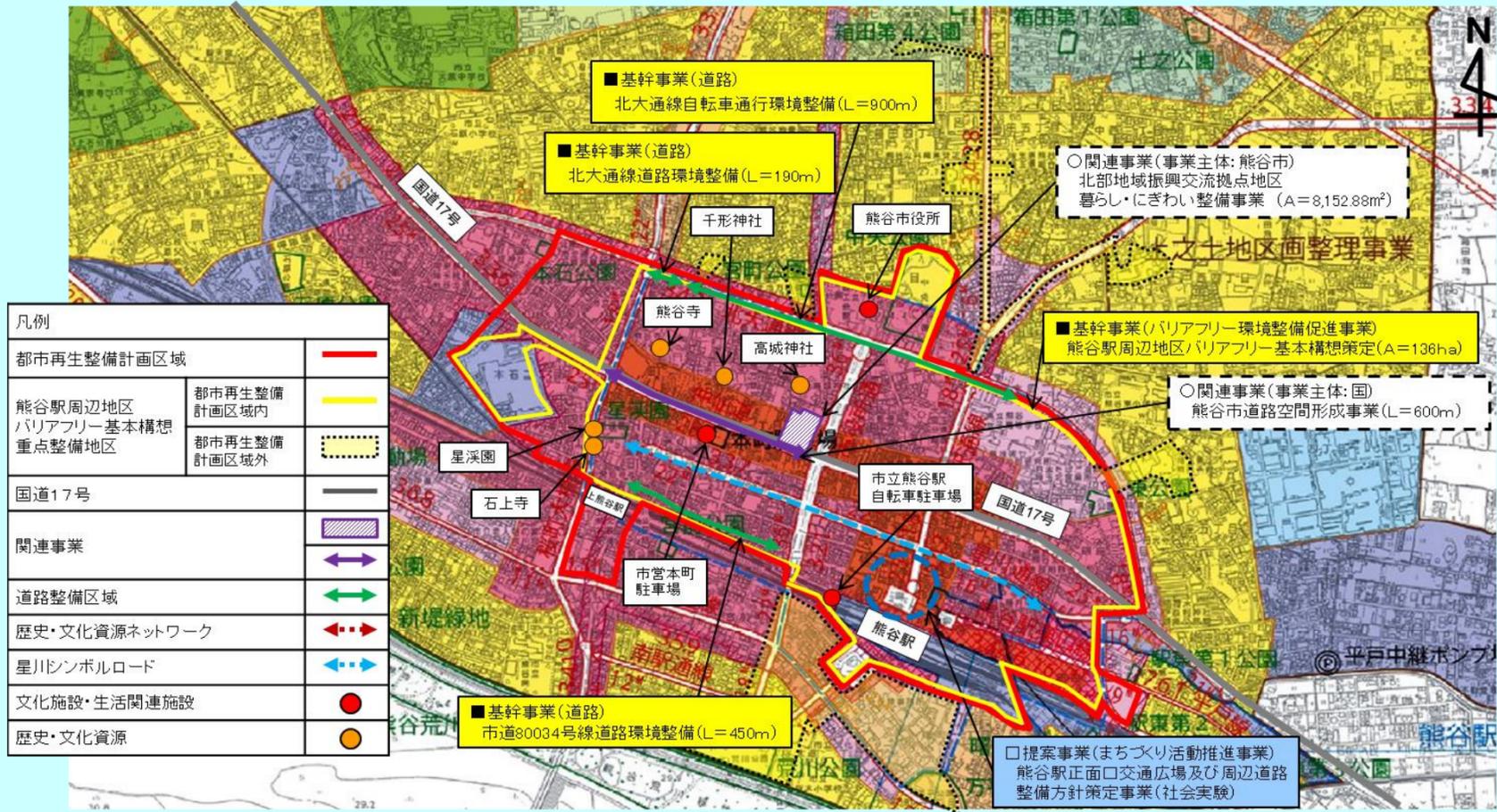
4) 定性的な効果発現状況

5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況			今後の対応方針等	
モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた	-	-		
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	-			
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-			
住民参加プロセス	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた	-	-		
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	-			
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-			
持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた	-	-		
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	-			
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-			

## 様式2-2 地区の概要

熊谷市中心市街地地区(埼玉県熊谷市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	値	年	値	年	値	年
大目標 埼玉県北部地域の中核都市として環境にやさしく、暮らしやすく、魅力ある中心市街地を目指す 目標1 道路環境の改善等により、誰でも安全・快適に移動できる道路環境・交通体系を構築し、交通利便性の高い都市環境を目指す。 目標2 生活関連施設や歴史・文化資源等を結ぶ歩行者及び自転車のネットワークを構築し、中心市街地の交流人口の増加とにぎわい再生を目指す。	歩行者・自転車通行環境の満足度	単位: %	55	H21	58	H28	42	H28
	歩行者・自転車通行量	単位: 人	16,825	H23	19,711	H28	21,332	H28



**まちの課題の変化**

■達成された課題

- ・高齢者、障害者等の意見をとりまとめ熊谷市中心市街地内の現状を把握し、関係事業者と連携しバリアフリー環境の推進を図った。
- ・歩道の新設により歩行者の安全性、回遊性が向上した。また、自転車通行環境の整備により、自転車の通行位置を誘導し、歩行者の安全性及び自転車の回遊性が向上した。
- ・歩道の新設により、安全で安心して歩ける空間の創出及び自転車通行環境の整備により自転車で移動しやすい空間を創出することにより、歩行者、自転車通行量の拡大し、環境負荷の少ない移動手段への転換が図れた。

■残された未解決の課題

- ・バリアフリー環境整備に費用がかかる事業が長期化してしまっている。
- ・バリアフリー化ができていない歩道が存在している。また、自転車通行環境のネットワークの構築されていない。

■新たに発生した課題

- ・高齢者、障害者等の移動や施設利用の利便性及び安全性向上の推進を図るためには、施設の整備だけでなく、ソフト面での施策展開が必要である。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

■効果を持続させるために行う方策

- ・年1回事業の実施状況の調査を行うとともに、再度まち歩き等を実施し、事業計画の見直し等を行う。
- ・自転車通行位置の明示を行い、自転車の通行位置を確認させ自転車の交通ルール順守により、歩行者、自転車それぞれの安全性・回遊性の向上に役立てる。

■改善策

- ・現道の歩道を拡幅や、バリアフリー対応していないトイレをバリアフリー対応にすることにより、バリアフリー環境の推進を図る。
- ・歴史・文化施設を結ぶ歩車共存の散策路の整備、まちの玄関口にふさわしい駅前広場の整備、多言語化等のユニバーサルデザインに配慮した案内看板の設置等を行い、観光客等にも歩きやすいまちづくりを進め、にぎわい再生を図る。
- ・バリアフリー化の重要性や高齢者・障害者・子育て世代等への理解促進など心のバリアフリーの普及・啓発に向けた取組を推進する。